

平成27年度鳥取県アドバイザー派遣事業 鳥取県学校保健会養護教諭部会報告

| | | | | |
|------------|-------------------------|-----|-----------|-----|
| テーマ | 研究的視点による実践レポート作成について | | | |
| 期日 | 平成27年8月4日(火) 9:20~16:40 | | | |
| 講師 | 元全国養護教諭連絡協議会会長 安藤節子氏 | | | |
| 参加者 | 県内小学校養護教諭 | 23名 | 県内中学校養護教諭 | 18名 |
| | 県内高等学校養護教諭 | 12名 | 計 | 53名 |

研修の概要

【講義1】「レポート作成の意義と養護教諭の役割」

養護教諭の役割とその仕事の重要性について法的根拠をもとに再確認することができた。研究的視点を持ってレポートをまとめることにより、健康課題が明確になり、養護教諭自身はその課題にどのように取り組んでいるかがわかる。同時に、自分が健康教育実践者として大切な仕事をしているのかということがわかり、養護教諭であることの「自信」と「誇り」を持って仕事に臨むことができる。

【講義2】「実践レポートのまとめ方」

学校保健の領域と構造を意識しながら養護教諭としての実践をまとめる。レポートのテーマは具体的にどんな子どもを目指すのかを意識して設定することが大切であり、それが具体的な実践計画につながる。テーマ設定がしっかりしていれば計画、実践、評価まで一本筋の通ったものとなり、実践レポートも最後まで迷うことなく書くことができる。

【演習 個人作業】「実践レポート作成について」

講義をもとに、実際に自校の健康課題について考え、テーマとサブテーマの設定を重点に、テーマ設定の理由と仮説、実践をまとめていく作業を行った。途中、西尾指導主事の指導・助言やグループの先生との意見交換により、深まりのあるレポート作成へとつながった。

【個別指導・指導助言】「実践レポート作成の実際」

個人作業と同時進行で、平成28年度のシンポジスト3名が、安藤先生の的確なご指導により、すっきりと整理され、方向性が明確になった。それぞれがレポートをまとめる中で、自分自身の取り組みについて考えを深めたり、今後の実践の意欲を高めたりすることができた。

今後の成果と課題

研修を通して、児童生徒の健康課題を明確にし、研究の視点をもって実践・評価しレポートにまとめていくことが、健康教育の実践者としての養護教諭の専門性の向上につながることを学んだ。「テーマを一つに絞る」ことで目指す子ども像や実践すべき内容が明確になることを実感した研修でもあった。今後は、実践を積み重ね、レポートを完成させていくことで個々のレベルアップを図るとともに、研修会や研究集録での発表により、県内養護教諭全体へ広げ互いに高まり合うことを目指したい。